

和歌山病院 ニュース

第8号

2003年2月発行

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した

【安心と信頼をいただける病院】

をめざします。

発行元 国立療養所和歌山病院

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138

Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~wakah/>



「外来診療棟の整備により、診療体制の充実に努めます。」 —完成間近の救急玄関—

目次

- ◆ 外来治療棟等の増改築工事について..... 2
- ◆ 風邪・インフルエンザについての正しい知識を持ちましょう 3
- ◆ 展示品紹介コーナー 5
- ◆ 外来診療担当表 6
- ◆ 職場紹介 (外来)..... 6

お知らせ

開放型病院 4周年記念講演会

日時 平成15年2月22日(土) 午後3時30分より

場所 国立療養所和歌山病院 研修棟

外来治療棟・特殊診療棟の増改築工事について

当院の外来治療棟等の増改築工事は、現在の診療を継続しながらの工事であることから、区画を分けて工事を進めています。

この工事は、

- (1)救急車のスムーズな受入れが出来る外来救急室、及び救急車乗り入れ玄関を新たに整備し、救急診療設備の充実を図る。
- (2)狭隘な外来を解消するために診察室、処置室を増設する。
- (3)診察室の整備、プレイルームの設置などにより小児診療の充実を図る。
- (4)脳波シールド室の整備により機能検査の充実を図る。

を目的として進めています。

これにより、救急車は救急入口に横付けして即座に患者さんを救急室に運べ、速やかな対応が出来るようになります。

当院では、これまでも国の政策医療である循環器疾患、呼吸器疾患などを中心に、時間内、時間外を問わずに救急患者さんの受け入れを行っていますが、外来救急室の完成(15年3月)に併せて救急告示を受ける予定であり、さらにスムーズな救急患者さんの受け入れ体制の充実を図ります。

いつでも安心して診療を受けていただける病院を目指し、今後さらに積極的に地域における医療の中核病院としての役割を果たすべく取り組んでいきます。



外来救急室



診察室



小児科待合
プレイルーム



風邪・インフルエンザについての正しい知識を持ちましょう！

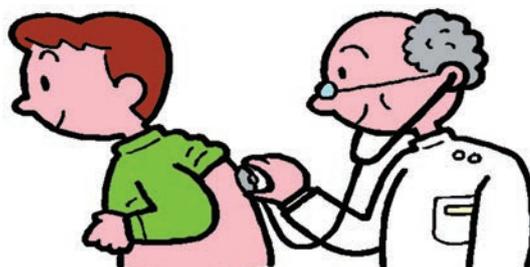
平成14年12月7日（土）に恒例の呼吸器健康教室を開催しました。テーマは、この時期に流行る風邪・インフルエンザに着目し、「風邪の予防とその対処法」とし各専門家による講義を実施しました。今回は、参加者の方や医療スタッフの交流を目的にグループ対抗の〇×クイズを行い、楽しく、気軽に質問出来る雰囲気で行う事が出来たように思います。

今回の健康教室で行った〇×クイズ問題とその解説です。これからますます寒さが深まり、風邪を引きやすくなります。皆様、まずはその予防法を知り、風邪ウイルスより自分の身を守り健康を維持していきましょう！



問1 風邪・インフルエンザの原因は細菌による感染である。：×

この問題は、会場での正解率が少なかった問題ですが分かりましたか？一般的に「風邪の菌がうつった」などという事が多いとおもいます。しかし、風邪・インフルエンザの原因となるのは、ウイルスによるものなのです！ウイルスの種類は、200種類以上あると言われています。これらのウイルスにより気道の感染を起こすと風邪を引き起こします。インフルエンザは、インフルエンザウイルスというものによる感染で、高熱・関節痛・頭痛・筋肉痛などといった全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを併発し、重症化しやすいのが特徴です。ただの風邪だから大丈夫！？と安易に考えず、早めの受診を心掛けましょう。



問2 インフルエンザに予防法はない：×

インフルエンザのウイルスは、主に咳などで空気中にまき散らされたしぶきを、鼻や気管などに吸入することによって感染します。インフルエンザの流行期間は、出来るだけ人ごみを避け、外出後はうがい、手洗いを行いましょう。最も大切な予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。



問3 風邪の予防には①暖房②乾燥③換気が効果的である。：×

この問題も引っかけ問題です。冬の風邪ウイルスは、低温・乾燥を好みます。大切なのは、室内を暖かくし、湿度を適度に保ちましょう。暖房の効いた部屋では、乾燥しやすいので定期的な換気・加湿を行いましょう！

問4 風邪をひいた時には足浴を行うと良い。：○

足浴とは、足のくるぶしから下の部分やふくらはぎから下の部分だけを洗面器などを利用し、お湯に浸す方法です。足を温めることにより、全身の血液循環が促進され、体が温まるだけでなく、体にたまった老廃物の排出といった代謝機能も高まります。

問5 インフルエンザに薬はない。：×

残念ながら、インフルエンザを治す特效薬はありませんが、感染予防を目的としたワクチンやウイルスの増殖を抑える薬などが治療に用いられます。

***インフルエンザ治療薬**：ウイルスが身体の中で増殖するのを抑えることにより症状を軽減します。発症後48時間以内に開始し、5日間確実に使用しなければ効果は期待出来ません。（飲み薬と吸入薬がありますが、医師の処方が必要です。）

***インフルエンザワクチン**：現在のところ最も的確な予防対策です。インフルエンザウイルスは、効果が十分に持続するのが約5ヶ月とされていますので、毎年接種する必要があります。



問6 インフルエンザの流行する時期に予防的に風邪薬を飲むと良い。：○

勝手に自己判断するのではなく、早めに受診して症状に合った薬を処方してもらいましょう！

問7 和歌山の特産物であるみかんと柿でビタミンCを多く含むのは柿の方である。：○

この問題も難しい問題でした。柿の方が、多く含みますが、多く食べるのはみかんのほうかと思います。ビタミンCには、ウイルスなどの感染に対する抵抗力を増す、寒さに対する抵抗力をつける働きもありますので積極的に摂りたいものです。



問8 風邪を早く治すにはまず糖質食品を積極的にとると良い。：○

風邪を引くと多くのエネルギーが消費されます。糖質・たんぱく質など、バランスの良い食事を行いましょう。また、ビタミンAには、皮膚や粘膜を丈夫にして風邪を予防する働きがあります。（緑黄色野菜などを積極的に摂るように心掛けましょう！）

問9 冬には出掛けず運動を避けたほうが良い。：×

人間の身体は適度の運動をする事によって、正常状態を保っています。普段している生活をマイペースで行い、1日の目標を決めて散歩をするのも良いでしょう。

問10 痰を出すことは風邪予防に有効である。：○

痰は、厄介なものと考えられがちですが、気管や気管支に侵入したほこりや細菌などを痰で包んで身体の外へ吐き出します。呼吸器の感染を防ぐ為には、とても大切です！痰を出す前には、水分補給やうがいなどを行い十分な加湿をしてから行いましょう。

展示品紹介コーナー

(ボランティアの方と職員による)



外来診療担当表

平成15年2月1日現在

総合外来	月	火	水	木	金
1診	西村			西村	
循環器(心臓)	月	火	水	木	金
1診		石井			
3診	楠山	水越	初診のみ	楠山	水越
5診	豊田	和中		川邊(哲)	豊田
循環器(脳)	月	火	水	木	金
1診			南都		
呼吸器科	月	火	水	木	金
1診					畠
2診			駿田		
6診	小野	川邊(和)	畠(午後)	藤本	
7診	駿田	小野	藤本	川邊(和)	岡村
胸部外科	月	火	水	木	金
2診	別所	西田		別所	西田
神経内科	月	火	水	木	金
6診			三輪 (隔週)		近藤 (隔週)
小児科	月	火	水	木	金
小児科	堀野	島津 問	アレルギー (予約)	問山	島津 堀野
睡眠外科	月	火	水	木	金
6診	岡村(午後)				
放射線科	月	火	水	木	金
放射線科		池田		池田	
検査室	月	火	水	木	金
超音波室	心エコー	心エコー		腹部エコー	心エコー
				心機能検査	
内視鏡室		内視鏡		内視鏡	

上記の診察日は学会出席等で変更することがありますので、詳しくは受付窓口でご確認ください。

診療科目 内科・呼吸器科・循環器科・小児科・外科・呼吸器外科・心臓血管外科・放射線科
 受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで
 (睡眠障害外来は毎週月曜日の午後1時30分から午後4時まで)
 面会時間 午後1時から午後8時まで

職場紹介 外来

医療現場は日々変化しています。当院外来の診療体制も変わりつつあります。しかし、看護師の姿勢、患者様へのケアの本質は変わりません。

外来看護では次の4項目を重点に担当看護師は努力しています。

1. 化学療法では患者様の環境への配慮と受持看護師による個別看護
2. 糖尿病教室の定期開催(1回/月)
インシュリン加療中の患者様への自己血糖測定の個別指導
3. 喘息患者様に対する日常生活指導と、ピークフロー測定法の個別指導
4. 神経内科患者様に対する日常生活指導

多くの医療機関の中で、当院を選んで頂いた患者様に快く受診し、納得して帰って頂けるようにと、日々接遇に心がけている外来スタッフです。

